

編集・発行 農林水産省農産局技術普及課

このメールマガジンは、普及事業に関する情報などを、登録された皆様に無料でお届けするものです。もし、まわりに登録されていない方がいましたら、ぜひ登録をお勧めください。

令和3年7月1日

平成9～11年に普及教育課（当時）に在籍しておりましたが、今回、再び最も現場に近いところで皆様と一緒に仕事をさせて頂けることを嬉しく思います。

当時は地方分権のうねりが普及全体を揺さぶっていましたが、今はまた、コロナ禍という状況の下、普及事業や新技術、生産資材等を取り巻く課題と期待に身が引き締まる思いです。

もとより微力ではありますが、現場の声に耳を傾けつつ、生産性向上と持続性の両立など時代の新たな要請にも生き生きと取り組んで頂けるような環境創りに努めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

農林水産省農産局技術普及課長
横地 洋

【 本 号 の 内 容 】

【施策情報】

- ☆安全対策「畜産業事故体感 VR 映像」を作成しました！
- ☆令和 3 年度 薬用作物の産地化に向けた栽培技術研修会の開催について
- ☆「国際果実野菜年 2021」WEB シンポジウムの開催及び参加者の募集について
- ☆野菜の衛生管理指針（第 2 版）の公表について ～食中毒を防ぐために～
- ☆加工食品の表示を確実に！（特に原料原産地表示）

【病害虫発生予報の発表について】

- ☆「令和3年度 病害虫発生予報第6号」の発表について

++・..... 施策情報・++

=====

- ◆安全対策「畜産業事故体感 VR 映像」を作成しました！

【大臣官房政策課】

=====

農林水産業・食品産業の分野では、毎年死傷事故が多く発生しています。

今般、安全意識向上のため、作業事故を自分にも起こり得ることとして体感できる、畜産業の事故体感 VR 映像を作成しました。

VR ゴーグルを用いて視聴いただくことで臨場感が得られます。農業関係者はもとより、普及指導員の皆様におかれましては、作業安全の研修や農林水産業・食品産業のイベントなどでぜひご活用をお願いいたします。

また、多人数で閲覧できる映像もあり、無料でダウンロードして研修等にご利用いただけます（ダウンロードは 2022 年 3 月 24 日まで可能です）。

▼詳細はこちら

○作業安全事故体感映像

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/sagyou_anzen/shizai.html

※お問い合わせ先

農林水産省 大臣官房 政策課（担当：今井）

（03-3502-6565）

=====

◆令和3年度 薬用作物の産地化に向けた栽培技術研修会の開催について

【農産局果樹・茶グループ】

=====

薬用作物の産地形成に向けた、現場における栽培技術の指導体制を支援するため、都道府県の普及職員、JA 営農指導員、市町村職員等を対象に、各ブロックで「栽培技術研修会」を開催します。

普及指導員の皆様におかれましては、研修会へのご参加とともに、お近くに薬用作物の産地育成にご関心がある方等がいらっしゃれば、情報提供をお願いいたします。

なお、詳細については、以下のリンク先でご確認いただくか、事務局へお尋ねください。

（事務局）薬用作物産地支援協議会 担当者：栗田（あわた）

（03-5561-9562）

▼詳細はこちら

○全国農業改良普及支援協会 HP（薬用作物産地支援栽培技術研修会の開催）

<https://www.jadea.org/news/news-20210715.htm>

※お問い合わせ先：

農林水産省 農産局 果樹・茶グループ（担当：三奈木、小林）

（03-6744-2194）

=====

◆「国際果実野菜年 2021」WEB シンポジウムの開催及び参加者の募集について

【農産局園芸作物課】

=====

今年は、国連が定めた国際果実野菜年です。

果物と野菜は、食物繊維、ビタミン、ミネラル等を多く含み、健康的な食生活に欠かせないものですが、国民 1 人 1 日当たりの平均摂取量は、目標量に達していない状況にあります。

このため、国際果実野菜年という機会を捉え、最新の研究成果に基づく果物と野菜の利点について理解を深めるための基調講演を行うとともに、果物と野菜を毎日の食生活に取り入れていくための方策等について多様な方々とともに議論し理解を深めたいと考えています。

農業関係者をはじめ、普及指導員の皆様におかれましては、以下のリンク先で内容等をご確認のうえ、積極的なご参加をお待ちしています。

▼詳細はこちら

○国際果実野菜年 2021 (WEB シンポジウム)

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/engei/iyfv.html#4>

○ウェビナー登録 (参加登録方法)

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_MpwWTRIrTjClRK7FC_YI4A

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 園芸作物課 (担当：野島、高畑、廣瀬)

(03-3502-5958)

=====

◆野菜の衛生管理指針 (第 2 版) の公表について ～食中毒を防ぐために～

【消費・安全局農産安全管理課】

=====

農林水産省は、野菜を衛生的に保ち、食中毒が起きないようにするため、国際的に定められた衛生管理の取組も参考に、衛生上の注意すべき点をまとめた指針を作成し、生産段階での野菜の衛生管理を推進しています。

本年 7 月 30 日に、水や堆肥に関する取組内容を具体化した「栽培から出荷までの野菜の衛生管理指針」の第 2 版を公表しました。

普及指導員の皆様におかれましては、本指針 (第 2 版) を活用いただき、野菜 (特に生食用野菜) の生産現場における衛生管理が着実に実施されるよう、ご指導の程よろしくお願いいたします。

▼詳細はこちら

○指針のポイント

https://www.maff.go.jp/j/syouan/nouan/kome/k_yasai/attach/pdf/index-20.pdf

○野菜の衛生管理指針 (第 2 版)

https://www.maff.go.jp/j/syouan/nouan/kome/k_yasai/attach/pdf/index-18.pdf

○野菜の衛生管理に関する情報

https://www.maff.go.jp/j/syouan/nouan/kome/k_yasai/index.html

※お問い合わせ先

農林水産省 消費・安全局 農産安全管理課 (担当：永川、山川、小嶋、竹内)
(03-3502-7569)

=====

◆加工食品の表示を確実に！（特に原料原産地表示）

【消費・安全局消費者行政・食育課】

=====

加工食品を製造し販売する場合には、適切な表示が必要ですが、平成 29 年 9 月から全ての加工食品に「原料原産地表示」が義務付けられ、一番多い原材料の産地を表示することが必要となっています。経過措置期間を経て、令和 4 年 4 月からは、必ず原料原産地表示が付されていなければなりません。

農業者が自らの農産物を使用して加工食品を製造し、道の駅やインターネットを通じて消費者へ販売する場合にも、一番多い原材料の産地、例えば、原材料名欄に「ブルーベリー（〇〇産）」のように表示が必要です。

普及指導員の皆様におかれましては、現在、6 次化などで加工食品の製造・販売を行っている農業者や、これから製造・販売を目指す農業者の皆様に広く周知いただきますよう、お願いいたします。

▼詳細はこちら

○加工食品の原料原産地表示制度について（事業者向け活用マニュアル）

https://www.maff.go.jp/j/syouan/hyoji/gengen_hyoji.html

○事業者向けオンラインセミナー（動画による説明）

https://www.maff.go.jp/j/syouan/hyoji/gengen_hyoji.html#webseminar

○消費者庁ウェブサイト（食品表示全般の内容）

https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/food_labeling_act/

○消費者庁ウェブサイト（食品表示のご相談・受付窓口）

https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/information/contact/

※お問い合わせ先

農林水産省 消費・安全局 消費者行政・食育課（担当：茂木、岡谷）

（03-6744-2099）

++・…… 病虫害発生予報の発表について ……・++

=====

◆「令和 3 年度 病虫害発生予報第 6 号」の発表について

【消費・安全局植物防疫課】

=====

農林水産省は、令和 3 年 8 月 4 日（水）付けで、向こう 1 か月の農作物の病虫害発生動向や防除について「病虫害発生予報第 6 号」を発表しました。

普及指導員の皆様におかれては、病虫害防除所と連携し、地域での防除が確実に実施されるようご指導をお願いいたします。

○ 向こう 1 か月の主要な病虫害の発生予察情報（発生予報）については次のとおりです。

- 1 トビイロウンカは、東海以西を中心に多発生となった昨年と同様に、本年も東海以西で、昨年よりも早い時期から本虫の誘殺が確認され、一部の地域では

ほ場での発生も確認されており、これまでに岐阜県、三重県、大阪府、奈良県及び長崎県から注意報が発表されています。気象庁の 1 か月予報では、全国的に気温が高く推移する見込みとなっており、本虫の発生に好適な気象条件となることが懸念されます。

本虫の防除は、発生状況に応じた適期・適切な防除が重要となるので、都道府県病虫害防除所が発表する発生予察情報をこまめに確認することで、地域の発生状況を把握しながら、タイミングをとらえた適切な防除を実施してください。

2 野菜類では、ねぎのアザミウマ類の発生が、北東北及び南関東の一部の地域で多くなると予想されています。

3 果樹・茶では、茶の炭そ病の発生が、南関東及び東海の一部の地域で多くなると予想されています。

この他、水稻のいもち病等、地域によっては多くなると予想されている病害虫があるので注意してください。

▼詳細はこちら

○「令和 3 年度 病虫害発生予報第 6 号」の発表について

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/210804.html>

○過去の病虫害発生予報について

https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/boujyo/120104_yoho.html

※お問い合わせ先

農林水産省 消費・安全局 植物防疫課（担当：岡田、麻野、吉田）

（03-3502-3382）

◇夏休みの自由研究にも役立つ特設 Web サイト「マフ塾」オープン！

令和 3 年度「こども霞が関見学デー」の一環として、夏休みの自由研究にも役立つ 27 のオンラインプログラムを掲載した特設 Web サイト「マフ塾」をオープンしました。

当省初のライブ配信企画「官僚 YouTuber 電話相談室」をはじめ、全国どこからでも農・林・水を学べる多彩なコンテンツをご用意しております。

子供はもちろん、ご家族の方々もぜひご覧ください。

▼詳細はこちら

○夏休みの自由研究にも役立つ特設 Web サイト「マフ塾」、7 月 16 日オープン！

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/koho/210716.html>

○特設 Web サイト「マフ塾」

https://www.maff.go.jp/j/kids/kodomo_kasumi/2021/index.html

編集後記

8 月は本格的な夏休みのシーズンです。学童をお持ちの親御さんは、祖父母の

家に泊まりに行ったり、家族旅行をしたりと、普段なかなか行けない場所で、夏休みだけの特別な経験をさせてあげたいと考えておられることでしょう。

しかし、8月に入り新型コロナウイルス感染がこれまでにない勢いで増加するなど、外出もままならず、お家でゆっくりと過ごす時間が一層多くなりそうです。

暑い夏、子供の頃にタイムスリップし、夏休みの経験を懐かしがられている親御さんもおありでは・・・、毎朝、眠たい中でのラジオ体操、連日のプール等で日焼けして体がヒリヒリ、セミやクワガタ等の昆虫採取、親戚の家・海水浴・家族旅行、花火や夏祭り、宿題で最終日に慌てたなど、思い出したらキリがありません。

子供のころの楽しい夏休みはあっという間に終わったのに、年をとるにつれ、夏休み期間が長いと感じられるこの頃です。コロナ禍の中、家族で楽しく過ごせる夏休みにしたいものです。

◎編集担当 Y◎



※メルマガの配信登録はこちら

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

※バックナンバーはこちら

https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/hukyu/h_mailmag/index.html

※PDF形式のファイルの閲覧について

メールマガジンに記載したURLで、一部PDF形式のものがあります。

PDFファイルをご覧いただくためには農林水産省ホームページ

⇒ <https://www.maff.go.jp/j/use/link.html>

「3 PDFファイルについて」をご覧ください、「Get Adobe Reader」

のボタンで Adobe Reader をダウンロードしてください。